

「礼拝者が従うべき基準」

2023年04月16日

礼拝者であるクリスチャンには、この世とは違う基準があります。礼拝者は、いつでも細かく案内してくれる聖書のことばを中心にすべてのことを進める人、聖なる人、そして区別された人です。

聖書は、この世のすべてにおけるマニュアルであり法典ですが、これを無視して個人の哲学を主張すると、途端に問題が起こります。そのような例は、歴史上、数えきれないほどたくさんあります。

経済史を見てみましょう。貨幣を製造すると価値判断が問題になり、自由経済システムを導入すると今度は公平性が問題になりました。どの代案であれ、それが再び問題になった歴史はいくらでもあります。被害者が加害者になり、新しい被害者がまた加害者となり、人間が解決案として出した方策が、最後にはまた別の混乱の元になるのです。罪人である人間が築いていく世は、不義の世にならざるを得ないからです。

礼拝者は、この世の人々とは違います。礼拝者は多数決に従うことはしません。基準が違うからです。食べるときも飲むときも、礼拝者の中心にはいつも「みことば」があります。

キリスト者は、もう自分の意志や私見によってではなく、キリストによって生きるのです。

キリストにあって新しくされ、キリストを中心に考えて行動する人こそ、神様が求めておられる礼拝者なのです。

リビングライフ・コラムより

## 週報

§ 今年の教会テーマ  
「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句

「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。」ヨハネ1章16節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2  
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード  
鈴鹿キリスト福音教会  
059-383-5145(教会)  
080-3706-8433(牧師)

## 【報 告】

※ 本日は賛美の回復を願い、いつもの礼拝賛美の時よりも時間をかけて、【賛美中心の礼拝】を主に捧げたいと思います

使徒の働き 16:24 「この命令を受けた看守は、二人を奥の牢に入れ、足には木の足かせをはめた。真夜中ごろ、パウロとシラスは祈りつつ、神を賛美する歌を歌っていた。ほかの囚人たちはそれに聞き入っていた。

すると突然、大きな地震が起こり、牢獄の土台が揺れ動き、たちまち扉が全部開いて、すべての囚人の鎖が外れてしまった。ています。」

※ コロナもようやく落ち着きを見せてきました。教会堂のコイノニア室も改装され、兄弟の交わりのためにも大いに利用して頂くと感謝です。まだしばらくの間はコロナ以前のような昼食会はもちませんが、皆さんがおにぎりなど自由に持ち寄りて礼拝会後のひと時を親しく交わる時を楽しんでいただけると感謝です。

※ 明日の月曜日、「赤ちゃんカフェ」がコイノニア室を使ってもたれます。

※ 26日(水曜)の夜7時半よりシオン・ライフ・チャーチでワーシップ・リーダーの長澤崇史先生を迎えて「ワーシップ特別集会」がもたれます。参加希望者は輝子伝道師にお伝えください。

※ 5月3日(水曜)、「バイブル・トーク・セミナー」を持ちます。「バイブル・トーク」が目指すもの、進め方など、これまでバイブルトークを経験していない方にもぜひ参加されることを願っています。講師にはバイブル・トークの広がりのために長年、势力的に取り組んで来られている浜崎英一先生がオンラインで参加し導いてくださいます。

集会は 午前 10 時半～11 時半と午後 1 時～2 時です。

## 【メ モ】